

***** サクラマス(ヤマメ)の湖沼生活関連の文献 *****

2014年

Kasugai, K., H. Hayano, S. Mano, T. Watanabe, T. Yoshikawa, M. Saito, R. Wakimoto, and K. Sugiwaka (2014): Preliminary study of migration history estimated from otolith Sr:Ca ratios of masu salmon (*Oncorhynchus masou*) in Lake Kussharo. *Ichthyol. Res.*, 61: 178-182. #4816

2011年

Ueda, H. (2011): Physiological mechanism of homing migration in Pacific salmon from behavioral to molecular biological approaches. (英文). *General and Comparative Endocrinology*, 170(2): 222-232. #4559

2004年

Tamate, T., and K. Maekawa (2004): Female-biased mortality rate and sexual size dimorphism of migratory masu salmon, *Oncorhynchus masou*. *Ecology of Freshwater Fish*, 13: 96-103. (英文)

Tamate, T., and K. Maekawa (2004): Divergence between 1+ jacks and 2+ migratory males of masu salmon, *Oncorhynchus masou*, in a lacustrine population, northern Hokkaido, Japan. *Fisheries Management and Ecology*, 11: 365-367. (英文)

Ueda, H. (2004): Recent biotelemetry research on lacustrine salmon homing migration. (Review). *Mem. Natl. Inst. Polar Res., Spec. Issue*, 58: 80-88. (英文). #3955

2002年

Koseki, Y., and K. Maekawa (2002): Differential energy allocation of alternative male tactics in masu salmon (*Oncorhynchus masou*). *Can. J. Fish. Aquat. Sci.*, 59: 1717-1723. (英文)

坂本博幸・隼野寛史・小島 博 (2002): 有珠山噴火後の洞爺湖サケ・マス類の生息状況について. 魚と水, 38: 69-73.

Tamate, T., and K. Maekawa (2002): Individual growth and phase differentiation of lacustrine masu salmon, *Oncorhynchus masou*, under artificial rearing conditions. (飼育環境下における湖沼型サクラマス個体の成長と相分化). *Ichthyological Research*, 49: 397-400. (英文).

2000年

中澤昭夫 (2000): チリ・パタゴニアにさくらます定着を確認. 海外漁業協力, (13): 1-5.

関 泰夫・内田建哉・星野正邦・佐藤五郎 (2000): 北ノ又川に放流されたヤマメの越冬降湖回遊. 新潟内水面水試研報, (24): 19-26.

Tamate, T. and K. Maekawa (2000): Life cycle of masu salmon (*Oncorhynchus masou*) in Shumarinai Lake, northern Hokkaido, Japan. (北海道北部の朱鞠内湖に生息するサクラマスの生活史). *Eurasian J. For. Res.*, 1: 39-42. (英文)

山口一彦・中村智幸・丸山 隆 (2000): 人工湖における降湖型サクラマス, *Oncorhynchus masou* の天然魚と放流魚の年齢組成, 性比, 成長, 食性. 水産増殖, 48(4): 615-622.

Yamamoto, T., K. Edo, and H. Ueda (2000): Lacustrine forms of mature male masu salmon, *Oncorhynchus masou* Brevoort, in Lake Toya, Hokkaido, Japan. (北海道洞爺湖における雄サクラマス湖沼型). *Ichthyological Research*, 47(4): 407-410. (英文)

1998年

寺園勝二・越澤 治 (1998): ダム貯水湖におけるサクラマスの光誘導(その2). ダム技術, (138): 50-58.

上田 宏・庄司隆行・嶋山雅秀 (1998): サケ科魚類の母川回帰機構. 日本味と匂学会誌, 5(2): 109-118.

1997 年

寺園勝二・越澤 治・古屋 稔 (1997): ダム貯水湖におけるサクラマス¹の光誘導(その 1). ダム技術, (129): 10-17.

1996 年

上田 宏・嶋山雅秀・栗原堅三・山内皓平 (1996): サケ科魚類の母川回帰機構: 視覚と嗅覚の役割. 日本水産学会誌, 62: 138-139.

1994 年

中村智幸 (1994): 川治ダム湖漁場開発試験 -イワナ, ヤマメの産卵生態調査-. 栃木水試研報, (38): 67-68.

1993 年

松坂 洋・長崎勝康・原子 保 (1993): 十和田湖で採捕されたサクラマスについて. 青森内水試事業報告書(平成 3 年度): 71-73.

大井明彦・井口雅陽・阿部信彦 (1993): 人工湖利用技術開発調査(サクラマス放流効果調査)-IV. 山形内水試事業報告(平成 3 年度): 8-9.

1992 年

中村智幸・渋谷隆之・手塚 清 (1992): 川治ダム湖漁場開発試験. 栃木水試業務報告書, (36): 86-98.

Sakai, M., E. Estay, A. Nakazawa, N. Okumoto, and A. Nagasawa (1992): The first record of the spawning run of masu salmon *Oncorhynchus masou* introduced into the Patagonian Lake General Carrera, southern Chile. (チリ国パタゴニア地方の General Carrera 湖に移入されたサクラマスの産卵回遊の初記録). 日本水産学会誌, 58: 2009-2017. (英文)

1987 年

Sakai, M., R. Aguirrebena, and A. Nagasawa (1987): Growth analysis by scale reading of cherry salmon (*Oncorhynchus masou*) stocked a Closed-system lake "Lagoon Don Poli", southern Chile. (チリ国南部の閉鎖型湖 Lagoon Don Poli に移入されたサクラマスの鱗相による成長解析). JICA チリ国アイセン州への太平洋サケ類の導入プロジェクト報告, (18): 1-26. (英文)

Tsygir, V. V., and N. N. Ivankov (1987): Freshwater masu salmon *Oncorhynchus masou* from the Artemov Reservoir (the Far East). (極東の Artemov 人工湖の淡水性サクラマス). *Ichthol.*, 27(4): 576-583. (ロシア語)

1984 年

片岡哲夫・本多信行・鈴木惇悦 (1984): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-VI マス類の資源量. 新潟内水試研報, (11): 1-13.

1983 年

本多信行・片岡哲夫・星野正邦・関 泰夫 (1983): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-IV. 北の又川に遡上するマス類の資源量. 新潟内水試研報, (10): 1-12.

本多信行・片岡哲夫・星野正邦・関 泰夫 (1983): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-V. 湖

産サクラマス成長及び成熟. 新潟内水試研報, (10): 13-20.

1982 年

長内 稔 (1982): 湖沼のサクラマス. 淡水魚 増刊(ヤマメ・アマゴ特集): 92-96.

1981 年

本多信行・片岡哲夫・星野正邦・網田健次郎 (1981): 河川勾配が急な水域でのヤマメの分散と定着についての観察. 新潟内水試研報, (9): 1-9.

本多信行・片岡哲夫・星野正邦・関 泰夫 (1981): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-II. 湖産サクラマスの産卵溯上生態について. 新潟内水試研報, (9): 16-23.

1980 年

本多信行・鈴木惇悦・網田健次郎・片岡哲夫・江村 清 (1980): 奥只見湖における湖産サクラマスの再生産に関する研究-I 湖産サクラマスを中心とする魚類の垂直分布と食性について. 新潟内水試研報, (8): 5-15.

1978 年

関 泰夫 (1978): 奥只見湖で再捕されたヤマメ(*Oncorhynchus masou* Brevoort)とその由来について. 新潟内水試研報, (6): 11-15.

若林 務・渋谷隆之・叶木彦治 (1978): 川俣湖におけるヤマメ, イワナの遊泳層と食性について -1975, 1976 年夏季の刺網漁獲結果より-. 栃木水試研報, (7): 33-45.

1976 年

吉水 守・神山和義・木村喬久・坂井 稔 (1976): サケ科魚類の腸内細菌叢に関する研究-IV. 河川および湖沼棲息魚の腸内細菌叢. 日本水産学会誌, 42(11): 1281-1290.

1973 年

寺尾俊郎・疋田豊彦 (1973): 支笏湖で採取されたサケ科魚類の大型魚について. 道立水産孵化場研報, (28): 77-89.

外崎 久 (1973): 岩尾内人工湖の概要とワカサギ, ヤマメの放流効果. 魚と水, (9): 1-9.

1970 年

Christie, W. J. (1970): Introduction of the cherry salmon *Oncorhynchus masou* in Algonquin Park, Ontario. (カナダ国オンタリオ州の Algonquin 公園に移入されたサクラマス). *Copeia*, 1970 (2): 378-379. (英文)

1969 年

伊藤安男 (1969): 朱鞠内湖さくらます捕獲採卵試験. 魚と水, (4): 25-29.

徳井利信 (1969): カナダへ移植したサクラマス. 魚と卵, (130): 3-7.

1968 年

川嶋和雄・鈴木 亮 (1968): 日本産サケ属 2, 3 種における鱗相の比較研究. 淡水区水産研究所研報, 18(1): 49-59.

1966 年

長内 稔 (1966): 人工湖の放流適種と考えられるサクラマス及びワカサギについて. 魚と卵, (116): 7-12.

1962 年

長内 稔 (1962): 陸封型サクラマスの生態調査. I. 雨竜人工湖の湖況の変遷と湖産サクラマスの食性について. 道立水産孵化場研報, (17): 21-29.

徳井利信 (1962): 十和田湖の湖水型サクラマス (*Oncorhynchus masou*) について. 水産増殖, 10(2): 133-136.

1958 年

岡田 雋・井上 聡 (1958): 糠平人造湖の魚類. I. 陸封型マス及びヤマベ. 帯広畜産大糠平生物研究所研報, (2): 1-13.

1944 年

畑 久三・中村一雄 (1944): 鱒稚魚の食餌に就て. 水産学雑誌, (52): 31-34.

1933 年

大野磯吉 (1933): 北海道産サクラマスの生活史. 鮭鱒彙報, 5(2): 13-25.

1932 年

大野磯吉・安藤壽三郎 (1932): 洞爺湖産のマスに就て. 鮭鱒彙報, 4(1): 5-9.